

北海道気候変動影響研究シンポジウム 2025 プログラム

日 時 令和 7 年 12 月 22 日(月) 10 : 00~17:50

会 場 北海道大学 学術交流会館 2F 講堂 (口頭発表)、1F ホール (ポスター発表)

●ポスター受付および貼付け(9:30~10:00) [1F ホール]

●ポスターセッション(10:00~12:00) [1F ホール]

●奇数番号コアタイム (10:00~11:00)

●偶数番号コアタイム (11:00~12:00)

●開会あいさつ(13:00) [2F 講堂]

●事務局連絡

●特別セッション「北海道を襲う猛暑とその影響」 (13:05~14:50) [2F 講堂]

A01 2025 年夏 北海道の天候と記録

○横田 歩 (気象庁 札幌管区气象台 気象防災部 地域防災推進課)

A02 北海道における 2025 年の極端気象とその背景要因 : 大雪から猛暑まで

○佐藤 友徳 (北海道大学)

A03 全国主要都市に対する暑熱・強風・雪の気候変動脆弱性アトラスの作成

○稲津 将・松岡 亮 (北海道大学)・竹見 哲也・丹治 星河・中 七海 (京都大学)・日下 博幸・Doan Quang Van (筑波大学)・中村 祐輔 (立正大学)・大風 翼 (東京科学大学)・友清 衣利子 (熊本大学)・飯塚 悟 (名古屋大学) ”

A04 気候変動に北海道農業はどのように向き合うか?一現状と今後の適応の方向一

○廣田 知良 (九州大学農学研究院)

●休憩(14:50~15:00)

●一般セッション(15:00~16 : 50) [2F 講堂]

01 北海道の気候変動に伴う建築環境デザインの新潮流

○齊藤 雅也 (札幌市立大学)

02 河川水温はどのように変化する（している）か？～簡易水温推定モデルの構築と河川水温復元・将来予測データベースの作成～

○星野 剛（寒地土木研究所）

03 北海道における積雪深の長期変化の特徴 ―1962 年から 2021 年までの 60 年間における年平均積雪深および年最大積雪深による解析―

○亀田 貴雄（北見工業大学）

●休憩（10 分）

04 温暖化で引き起こされる高山生態系の変化

○工藤 岳（北海道大学地球環境科学研究所）

05 北海道における線状降水帯を伴う大雨と将来予測

○大屋祐太（北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所）・山田朋人（北海道大学）

●休憩(16:50～17:00)

●企画セッション「リスク情報による防災行動の促進に向けて」（17:00～17:45）[2F 講堂]

●パネラー

・土屋 信行（公益財団法人リバーフロント研究所）

・石塚 宗司（北海道大学大学院工学研究院）

・武田 淳史（北海道開発局 開発連携推進課）

・佐藤 春雄（芽室町 総務課 危機対策係）

・川内 佑紀（株式会社 YAKUSHO）

●モデレーター

・山田朋人（北海道大学大学院工学研究院）

●閉会あいさつ （17:45）[2F 講堂]

●ポスターセッションのタイトル

P-01 線形モデルを用いた地形性降水に対する地形と凝結効率がもたらす影響評価
○蓮岡 慶行（北海道大学工学部河川・流域工学研究室）

P-02 アナログ手法を用いた令和2年7月豪雨に対する温暖化影響の評価
○菊池 和詩（北海道大学環境科学院）

P-03 旧河道が氾濫原の浸水脆弱性に及ぼす影響に関する基礎的分析
○松本 紘実（北海道大学工学部）

P-04 Classification of Historical Typhoon Tracks by Self-Organizing Maps and the Corresponding Rainfall Patterns in Japan
○Yiwen Mao・Tomohito Yamada（Hokkaido University）

P-05 衛星観測とモデルシミュレーションとの融合による長時間洪水予測の実装：洪水を災害にさせない社会の実現に向けて
○芳村 圭（東京大学）

P-06 雲頂部における長波放射に伴う冷却効果が線状降水帯の発生・発達に与える影響
○神辺 大地（北海道大学）

P-08 冬季降水における降雪の発生割合と地上気温および湿球温度の関係
○長谷川 禎史（北海道大学大学院工学院環境フィールド工学専攻）

P-09 社会的割引率の変化と治水投資の最適停止問題に関する一考察
○小路 琢人（北海道大学工学部環境社会工学科）

P-10 2019 年台風 19 号と 2007 年台風 9 号が利根川と千曲川の流域界周辺にもたらした大雨と水蒸気フラックスおよび大気安定度の関係
○岡地 寛季（北海道大学大学院工学研究院）

P-11 十勝川流域における 2016 年の洪水を対象とした気候変動影響評価 -リスクベースアプローチとストーリーラインアプローチの融合による検討-
○伊藤 毅彦・岡地 寛季・長谷川 禎史（北海道大学）・星野 剛（寒地土木研究所）・山田 朋人（北海道大学）

P-12 情報量と物理則の保存に基づく地球温暖化の進行に対応したアンサンブル気候情報の創出
○清水 啓太（北海道大学大学院工学研究院）

P-13 静止気象衛星観測による地表面と積雲対流の間の相互作用解析
○三輪 航大（北海道大学工学部）

P-14 河川定期縦横断測量データと国土数値情報河川データを統合活用した河道網一次元不定流計算システム
○石原 道秀（北海道大学大学院工学研究院）

P-15 極値統計理論に基づく降雨ならびに河川流量の定常・非定常性の分析
○中後 亮哉（北海道大学工学部）

P-16 洪水氾濫の時空間分布を考慮したパターン分類手法の基礎検討
○戸井田 春音（北海道大学工学部）

P-17 降雨流出・洪水氾濫プロセスにおける影響因子の比較解析
○古岡 應次郎・伊藤 毅彦・山田 朋人（北海道大学大学院工学研究院）

P-18 d4PDF における既往豪雨事例の気象場の再現性に関する検討
○宮本 真希・山田 朋人（北海道大学）

P-19 道南地域の斜面災害リスクに及ぼす気候変動の影響評価
○山田 遙（北海道大学工学部環境社会工学科地盤環境解析学）

P-20 ダム貯水池における水温鉛直分布を用いた成層強度評価
○川村 昂正（北海道大学工学部環境社会工学科）

P-21 十勝平野における d4PDF データセットを用いた干ばつ評価
○松浦 太一（株式会社地圏環境テクノロジー）

P-22 中小河川における河川整備や管理を支援するデジタルツイン技術の研究
○若狭谷 昇真（室蘭工業大学）・中津川 誠（室蘭工業大学大学院工学研究科）

P-23 公開気象データを活用した積雪寒冷地域における流出計算手法の精度向上
○平沢 陽子（日本気象協会・室蘭工業大学大学院）・相良 志織（北海道大学大学院）・中津川 誠（室蘭工業大学大学院）

P-24 北海道における「生態系を活用した防災・減災」等の気候変動適応の推進に向けた取組
○安田 希亜良・石澤 沙耶香・福井 隆・長野 永実・吉岡 実里・櫻木 萌子・中山 菜月・鈴木 ゆう子（日本エヌ・ユー・エス株式会社）・瀧 健太郎（滋賀県立大学）

P-25 Interaction of Temperature and Air Pollution on Heat-Related Illness: Evidence From 47 Japanese Prefectures
○Mustakim・Kayo Ueda（Department of Hygiene, Graduate School of Medicine, Hokkaido University）

P-26 介護老人福祉施設における熱中症の行動的準備とその関連因子
○新井 明日奈（北海道大学大学院医学研究院）・高橋 恭子（小樽商科大学）・Mustakim・Xerxes Seposo・上田 佳代（北海道大学大学院医学研究院）

P-27 クーリングシェルターはどこに配置すると効果的か？～アクセス性に着目した配置法の構築～
○佐々木 優二・小野塚 仁海（北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所）

P-28 氷河期に生き抜いた先人の生存スキルとは
○福田 健次（八剣山ワイナリー焚き火キャンプ場）

P-29 北海道の二季化は本当か ―雪と生物気象のデータから見る―
○瀧谷 克幸・松岡 直基（株式会社北海道気象技術センター）

P-30 水循環解析モデルを用いた北海道全域を対象とした河川流量再現解析
○多田 和広、深沢 壮騎（（株）地圏環境テクノロジー）

P-31 アナログ天気図法による気候変動影響評価（2025 年冬季日本の降水への適用）
○田村 健太（防災科学技術研究所）・佐藤 友徳（北海道大学大学院地球環境科学研究院）

P-32 2025 年 9 月北海道東部で発生した線状降水帯による浸水と斜面崩壊
○仁科 健二・宇佐見 星弥・大屋 祐太・石丸 聡（北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所）

P-33 トドマツ及びカラマツ人工林の種苗入れ替えがもたらす炭素吸収の増加効果：気候シナリオを踏まえた長期予測
○津田 高明・石塚 航・滝谷 美香（北海道立総合研究機構 林業試験場）・津山 幾太郎（森林整備・研究機構 森林総合研究所北海道支所）

P-34 北海道気候変動適応センターにおける北海道庁×道総研の連携―道総研の研究知見を活かした情報収集・発信と普及―
○鈴木 啓明・大屋 祐太（北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所）・佐々木 優二（北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所）・深田 実昭・鈴木 芳彦（北海道経済部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン戦略課）

P-35 積雪変質モデルの再現性向上に向けた道内 4 地点における積雪観測
○鈴木 啓明・大屋 祐太・野口 泉・三村 慧（北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所）・堤 拓哉（北海道教育大学旭川校）

P-36 気候変動に関する動画「未来の天気予報 北海道 2100 猛暑」の開発と普及
○鈴木 啓明・大屋 祐太・三村 慧・野口 泉（北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所）

P-37 2024-2025 年冬期に道内 4 地点で観測された積雪中 BC 濃度の時空間分布
○三村 慧・野口 泉・秋山 雅行・山口 高志・鈴木 啓明・大屋 祐太（北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所）・堤 拓哉（北海道教育大学旭川校）

P-38 北海道における日照時間・日射量および気温日較差の増加傾向とその関係性
○野口 泉・鈴木 啓明・大屋 祐太・三村 慧（北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所）

P-39 北海道における熱中症の傾向と教育現場での実践
○大屋 祐太・鈴木 啓明・野口 泉・三村 慧（北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所）

P-40 北海道バレイショ生産の変化：気候変動による高温・乾燥化・積雪減少の複合影響
○下田 星児（農研機構北海道農業研究センター）

P-41 宇宙線ミュー粒子を用いた堤防内部の密度推定の効率化
○米澤 一景（北海道大学河川流域工学研究室）